

「宮崎ひなた生活圏づくり」地域ワークショップが終了しました

昨年9月から毎月実施してきた「宮崎ひなた生活圏づくり」地域ワークショップ（宮崎県事業）は5回目を1月15日開催し終了しました。5チームに分かれ、下記のように進めました。

<p>第1回（令和元年9月5日） 『ひなたまちづくり応援シート』を使って、庄内地区の現状および将来の人口、高齢化率、子どもの数などを確認。現状の課題、今後深刻化しそうな課題・不安なことに関する意見出し。</p>
<p>第2回（令和元年10月2日） 第1回ワークショップで出された将来の課題・不安に対し、それを少しでも改善する・解消する取組のアイデア出し。出された取組アイデアを、「時間がかかる・すぐ出来る」、「自分たちで出来る・行政などからの支援が必要」という軸で整理。まず取組むべき課題を各班3つピックアップ。</p>
<p>第3回（令和元年11月6日） 第2回ワークショップで選ばれた3つの取組案について、具体化するために決める必要があることを話し合い。事務局で質問を用意し、それに沿って話し合いを進めた。</p>
<p>第4回（令和元年12月11日） 第3回ワークショップで出された意見をもとに、事務局にて取組案を整理し各班で出された取組案を5つのテーマに集約。各テーマに関する行政側での検討状況などを踏まえ、ワークショップにおいて話し合いを深めていくテーマを『地区内住民の交流の場所・機会をつくる』に絞り込み。このテーマについて、具体化するための意見出し（決めないといけないこと、場所など）、実行計画の話し合い。</p>
<p>第5回（令和2年1月15日） ワークショップ後を見据えて、実行計画をさらに具体化する。特に、今後話を進める場合にどのような体制でいくか。</p>

庄内地区参加者：延べ149名（1回当たり30名）

サポート：(株)アップス様（日向市）、社会システム(株)様（東京都）、宮崎県中山間・地域政策課様、宮崎県北諸農林振興局様、都城市総合政策課様（毎回約10名）。

ワークショップでは地区内4町（乙房町、関之尾町、庄内町、菓子野町）別に『ひなたまちづくり応援シート』を作って頂き、より細かい分析を行いました。今の時代に一番求められているのが、子供から高齢者までいつでも心の触れ合いができる『地区内住民の交流の場所・機会をつくる』という結果になりました。いろいろな関係者の力を借りながら、実現に向けて頑張ります。

今年も関之尾滝ライトアップを実施します

関之尾滝ライトアップは以前から庄内地区有志により実施されていたものを、平成23年より庄内地区まちづくり協議会地域づくり部会が引き継ぎ、実施しています。夏休みの期間中、地域内外の多くの人に見て頂き、自然の雄大さを実感し、幽玄な世界を満喫していただくことを目的としております。下記の日程で点灯します。

点灯期間：令和2年7月19日（日）～8月29日（土）毎日、日没～21時

庄内地区公民館・庄内地区市民センター落成式予定

令和2年10月25日（日）

10月26日（月）より新公民館の供用が開始されます。

庄内地区まちづくり協議会事務局

〒885-0114 都城市庄内町12599-1 庄内地区公民館内

TEL:0986-37-3488 FAX:0986-37-2728

ホームページ <http://www.bonchi.jp/shonai/>

みんなでつくる 住みよいまち 庄内 庄内地区まちづくり協議会だより



令和2年7月発行 VOL.21

令和2年度の庄内地区まちづくり協議会役員体制

令和2年4月15日（水）の第1回運営委員会で、令和2年度庄内地区まちづくり協議会定期総会は、書面表決としました。4月30日（木）に5名の役員・理事で集計の結果、第1号議案～第6号議案すべてが承認されました。新年度の役員体制は下記の通りです。

会長	釘村 美千也
副会長	福村 修
々	徳留 次男
々	今村 壮二
監事	新地 幸三郎
々	森山 久美子

以上総会承認

会長委嘱

事務局長	朝倉 脩二
------	-------

自治公民館活動部会長	前田 和憲
// 副部会長	福田 幸實
地域づくり部会長	森山 浩平
// 副部会長	松原 順一
// 幹事	黒木 優一
教育文化活動部会長	花原 恵子
// 副部会長	石塚 悟
健康福祉部会長	岡林 和子
// 副部会長	福村 修
環境整備部会長	花房 剛
// 副部会長	坂元 誠

今年度各イベント等の日程が決まりました

第5回庄内地区スカットボール大会	8月実施予定を延期、時期未定
第21回庄内地区スポ・レク大会	令和2年10月4日（日）
第35回庄内ふるさと祭り	時期・内容検討中
第26回庄内川一周Y.O.U遊駅伝大会	令和2年12月6日（日）
庄内地区一斉野焼き	令和3年1月24日（日）

※いずれも新型コロナウイルスの感染状況によっては変更の可能性があります。

九州運輸局交通政策関係表彰を受けました

令和2年1月22日福岡市の西鉄グランドホテルで九州運輸局主催の「省エネ環境フォーラム2020」が開催され、基調講演のあと交通政策関係表彰式がありました。

表彰は3部門に分かれ、地域公共交通部門で庄内ふれあい号の取り組みに対し「庄内地区まちづくり協議会」と「都城市」がそれぞれ表彰を受けました。九州運輸局の岩月理浩局長から釘村美千也会長に表彰状が授与されました。

地域公共交通部門表彰

「久山町地域公共交通活性化協議会」

「庄内地区まちづくり協議会」、「都城市」



第3回「庄内地区子どもの声を聞く会」を開催しました

青少協会長の菓子野小学校有村浩治校長のあいさつのあと、地区内各小学校から1名、庄内中学校2名の計5名の子どもたちが意見を発表しました。

関係者や住民など約60名の参加があり、子どもたちの意見に耳を傾けました。田中さんの発表は自分の将来なりたい職業について詳しく調べ、夢を実現するために「笑顔、礼儀など」が大事だということに気づいて実践しているというものでした。大野さんの発表は庄内の未来の姿を「人々が行き交う活気あふれる町」とし、庄内ふれあい号の運行効果、日南市油津商店街再生事業などの事例を調べ、庄内地区の問題点を解決する方法を提案してくれました。

内野宮君は自転車で転んだ体験から、どうすれば事故が無くなるか考え、歩道が住民の力で整備された事例などを調べ、歩道の整備が必要なことを訴えました。蒲生さんの発表は庄内の良いところは伝統行事を大事にする、住民のつながりが強い、水がおいしいことなどだが、アピールが足りないのでSNSで発信したり、空き家を活用して人を呼びなどしたらどうかという提案でした。

最後の福田さんの発表は、庄内で好きなところは風景や自然が素晴らしいこと、地区の行事が多くて高齢者の方とも触れ合う機会が多いことで、最近の体験では門松づくりで地域の人と交流したことやボランティアで高齢者施設に行って歌を歌って喜んでもらったことなどを話しました。庄内は成長するうえで大切なコミュニケーション力が付く、都会では体験できない素晴らしい環境だと話してくれました。

発表の後、乙房小学校の松本健市校長が講評を行い、それぞれの発表について、工夫しているところや、考え方のすばらしさ、発表の態度などのお話をされました。出席者は子どもたちの発表を聞いて、本当にしっかりとした考えを持っていることに感心しておりました。

発表者と題は以下のとおりです。

菓子野小学校6年 田中 萌々珂「私の夢」

庄内小学校6年 大野 愛里 「わたしたちの考える『庄内町の幸福論』」

乙房小学校6年 内野宮 慶汰「事故のない町を目指して」

庄内中学校1年 蒲生 帆花 「庄内の良いところ」

庄内中学校2年 福田 帆乃夏「私の好きな庄内」

(学年は発表当時)



庄内地区一斉野焼きを行いました

令和2年2月2日(日) 害虫駆除を目的として、庄内川堤防の一斉野焼きを行いました。午後1時から、各地区決められた区域の堤防の火入れを開始しましたが、天候に恵まれ良く燃えました。1月26日に予定しておりましたが雨天のため延期実施しました。従事した皆様ご苦労様でした。

稚児桜公園に桜を植えました

稚児桜公園の初代の桜は昭和48年に枯れ、その後植えられた桜も枯れてしまい、長い間困いだけが残っておりました。令和2年2月囲いの中に1本、北側に2本の桜を植えました。囲いの中の桜は紅豊(べにゆたか)という品種だそうです。4月には濃いピンクの花を咲かせました。



稚児ざくらの由来

慶長四年(一五九九年)、一時都城領主であった伊集院忠真と鹿児島宗家島津忠恒との間に内紛「庄内の乱」が起こり、寄せ手の島津軍とこれを迎え撃つ伊集院軍とがこの辺りで大激戦をくり広げました。この戦いで、島津軍の弱冠十六歳の若武者富山次十郎は奮戦むなしく敵刃に倒れ、その亡きがらは敵味方から惜しまれながらこの地に葬られました。

当時、この美少年の供養のために植えられたという桜の木は、その後数百年爛漫と咲き匂い、誰言うともなく稚児ざくらとして往時を偲ばせておりました。

令和元年度地域活性化事業について

① 有害鳥獣対策事業

近年庄内地区内において、イノシシが生息し田畑に被害を与えたり、通学路にまで出没したりするなど大変危険でした。そこで住民の有志(5名)が平成30年にわな猟免許を取得し、捕獲班を結成しました。本事業で囲い罠及びくくり罠を購入し、平成30年12月より捕獲班に貸与し、わな猟を開始しております。令和2年3月末までにイノシシ15頭、シカ1頭を捕獲しました。

総事業費：175,350円

都城市地域活性化事業補助金：172,000円

庄内地区まちづくり協議会負担金：3,350円

② ハッピー作製事業

平成30年度事業で庄内地区の一体感を醸成するために、まちづくり協議会のロゴマークが完成しましたが、このロゴマークを入れたハッピー100着を作製しました。さっそく「第34回庄内ふるさと祭り」のバザー(スタッフ60名)及びステージ発表(スタッフ70名)でスタッフが着用しました。今後もイベントなどで着用する予定です。

また庄内地区では平成15年から地域をあげて「心のプレゼント運動」を実施しています。これは「明るいあいさつ、ありがとう、人がよるこぶこと」をすすめる運動であり、シンボルマークをデザインしたハッピー30着を作成しました。20着は庄内中学校生徒会に貸与し、校門でのあいさつ運動等で着用します。10着は「心のプレゼント運動」の提唱者である、庄内地区社会福祉協議会に貸与し、介護者のつとめ、訪問座談会、福祉学習会等で着用します。

総事業費：704,160円

都城市地域活性化事業補助金：704,000円

庄内地区まちづくり協議会負担金：160円



③ 見守り隊ベスト作製事業

パトロールベスト及び帽子を各100枚作製し、地区内小中学校(庄内中、庄内小、乙房小、菓子野小)の見守り活動ボランティアやPTA役員用に各20枚、庄内地区まちづくり協議会用に20枚、合計100枚を配布しました。

胸側には「庄内 防犯」、背中側上段には「防犯パトロール」下段には「庄内地区まちづくり協議会」の文字を入れました。目立ちやすい色と反射テープを採用し、地区内の見守り活動や防犯パトロールを通じ地域の安心安全に寄与することを目指しています。

総事業費：293,760円

都城市地域活性化事業補助金：293,000円

庄内地区まちづくり協議会負担金：760円

④ 環境整備事業

各種イベント等で使用するステージやテント、その他の備品や看板、のぼり旗等を保管するため倉庫を設置しました。今までは市民センターの倉庫に入れておりましたが、公民館・市民センター建設工事のため、撤去されたのでまちづくり協議会で新設したものです。

総事業費：4,758,000円

都城市地域活性化事業補助金：3,000,000円

庄内地区まちづくり協議会負担金：1,758,000円

